

7. 競技規定および競技方法

(公財)全日本空手道連盟競技規定、並びに渋谷区空手道連盟申合せ事項による

【形競技】

- ・フラッグ判定によるトーナメント方式で行う。敗者復活戦は行わない
- ・中学生までは決勝まで 2 人同時演武、一般・シニア・マスターズは準優勝まで 2 人同時演武（決勝のみ 1 人ずつ演武）
- ・2 人同時演武の場合は斜め入場とし、コート外の礼は省略する
- ・自由形とは、全空連の基本形、指定形、得意形リストに載っているものすべてを含む
- ・シード選手の初戦を 2 回戦とする。シードでない選手は 1、2 回戦に限り同じ形を繰り返してもよい。シードがないトーナメントでは初戦を 2 回戦として扱う

種目	形の指定
小学 4 年生以下	1 回戦から準決勝までは基本形(ピンアン、平安、ゲキサイ)、決勝戦は自由形とする 1 回戦から決勝戦まで同じ形を連続演武可
小学 5、6 年生	準々決勝までは基本形(ピンアン、平安、ゲキサイ)から選択し、同じ形を連続演武可 準決勝からは、指定形、得意形及びこれまで演武していない基本形から選択する 準決勝と決勝は同じ形を演武可
中学生・一般男女有級・ シニア・マスターズ	1 回戦から決勝戦まで、自由形とする 3 回戦は 2 回戦と異なる形を選択し、同じ形を 2 回連続して演武することはできない (2 つの形を交互演武は可)
一般女子有段・ 一般男子有段	1 回戦から決勝戦まで、自由形とする 3 回戦は 2 回戦と異なる形を選択し、以降一度使用した形は選択することはできない

【組手競技】

- ・トーナメント方式で行う。敗者復活戦は行わない
- ・10 カウントルールは適用しない
- ・団体戦は各チームの初戦に限り、勝敗にかかわらず大将戦まで 3 試合すべて行う
- ・小学生団体戦は、勝敗にかかわらず大将戦まで 3 試合すべて行う。引き分けの場合はないようポイント差で勝敗決定、それでも同点の場合大将による先取り 1 ポイント勝負とする

種目	競技時間	勝敗ポイント
小学 4 年生以下	1 分間フルタイム / 決勝は 2 分間フルタイム	すべて 4 ポイント差
小学 5・6 年生・中学生・ 少年男子・男女有級・ シニア・マスターズ	1 分 30 秒間フルタイム / 決勝は 2 分間フルタイム	
一般男女有段・ 男子団体・女子団体	1 分 30 秒間フルタイム / 決勝は 3 分間フルタイム	4 ポイント差 / 決勝は 8 ポイント差
小学生団体	すべて 1 分間フルタイム	すべて 4 ポイント差

8. 選手持参品

【全員】健康保険証

【小学生以下】ゼッケン B5 サイズの白い布に横書き 上段に学年・下段に姓・名（ふりがな）

(例)

小学 ○年
しづや いちろう
渋谷 一郎

【組手選手のみ】

種目	拳サポーター	メンホー	マウスピース	胴当て	ファウルカップ
小学生以下	○	○	-	○	-
女子(中学生以上)	○	○	-	○	-
男子(中学生以上) ただし一般有段有級を除く	○	○	-	○	○
一般男子有級	○	○	-	-	○
一般男子有段	○	×	○	-	○

※上記表中において、○印は必着、×印は着用不可、-印は任意で着用可

※メンホーは全空連規定のものとし、タイプV以降を使用すること（タイプIV以前の旧型メンホーは不可）

※ファウルカップは空手着内に着用のごこと(未着用が判明した時点で反則負けとする)

※胴当ては空手着内に着用のごこと。ただし小学生以下は空手着の上から着用可

※拳サポーターは全空連規定に定められた赤・青を使用すること(白色は不可)。ただし小学生以下に限り、リバーシブルタイプの使用を可とする

※シンガード、インステップガードは任意で着用可（赤・青・白可）

9. 表彰

各競技種目の表彰人数は参加者数に応じて決定する。

10. その他

- ① 競技中の事故について、応急処置は行うが、以後の責任は負いません。傷害保険に加入しておりますのでその際は大会本部まで申し出てください。
- ② 会場での「ごみ」は各団体または個人で持ち帰るようにしてください。
- ③ 「履物」は袋に入れ、席まで持ち込み各自責任を持つよう指示の徹底をお願いします。
- ④ アリーナ内でのビニールシート等による場所取りを禁止します。できるだけ多くの方が観戦できるよう、また通行の邪魔にならないようにご協力をお願いします。
- ⑤ 計時・記録・コート担当係員および審判にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、出場申し込みと一緒にお手伝いいただける方のお名前をお知らせください。